

京都信用金庫の概要

設立	1923(大正12)年
預金積金	2兆8,710億円
貸出金	1兆8,472億円
常勤役職員数	1,597人
店舗数	94店舗

2023年3月末時点



本店（京都市下京区）

- 1971年 日本で初めて「コミュニティ・バンク」宣言
- 2008年 「絆づくり5か年計画」で地域の絆づくり（人と人との関係性）がコミュニティの活性化や暮らしの豊かさにつながることを唱える
- 2017年 ノルマ（個人業績評価）を廃止
- 2020年 イノベーションの創発拠点「**QUESTION**」を新築
「ソーシャル企業認証制度 S認証」を創設
- 2022年 お客様の想いを地域の企業に託す「京信ソーシャル・グッド預金」を発売



社会の課題や問い(Question)の答えを
皆で寄ってたかって考える場

QUESTION



各フロアの写真撮影：GK設計



7F Creative Commons
130名収容の大会議室



8F DAIDOKORO
ともに料理を楽しむ



5F Students Lab
学生と企業を繋げる



6F 京都信用金庫 河原町支店
金融面から事業をサポート



3F コワーキングスペース
登記もできるワークスペース



4F Community Steps
アイデアを生み出す場所



1F カフェ&バー・チャレンジスペース
人と人が交流する場所



2F 受付と coworkingスペース
コミュニティマネージャーが常駐

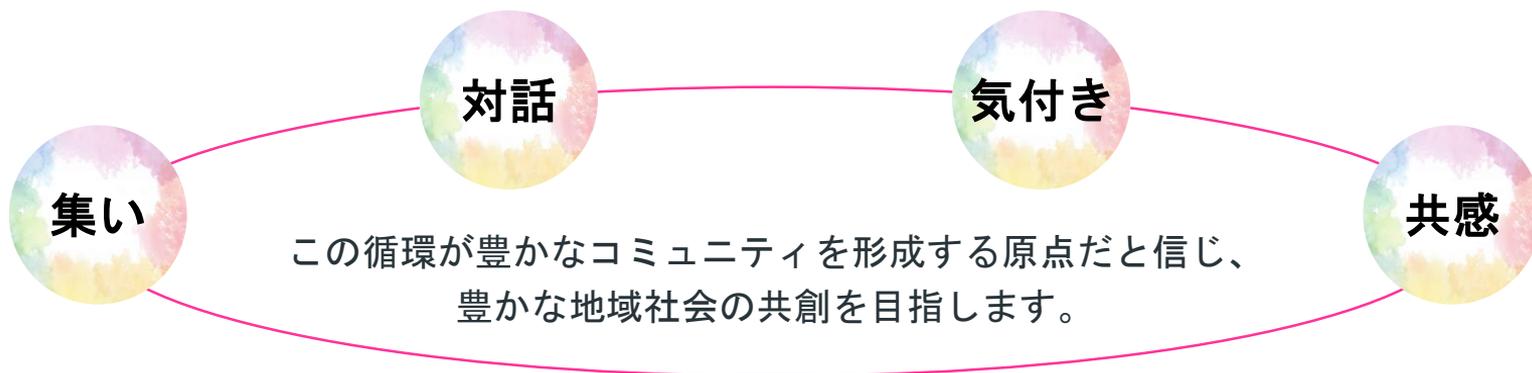
様々な人の『 ? 』が集まる場所

QUESTIONは地域の人と人、事業と事業をつなぐ温かい交流の場になりたい。そんな想いが詰まった全く新しいコンセプトの建物です。

地域にある様々な社会課題や中小企業の皆様が抱える事業の課題。創業間もない起業家の皆様の課題。将来に希望と不安を抱える学生さんの課題。どんなQUESTIONでも結構ですので、皆様もQUESTIONに様々な課題を投げかけてみてください。

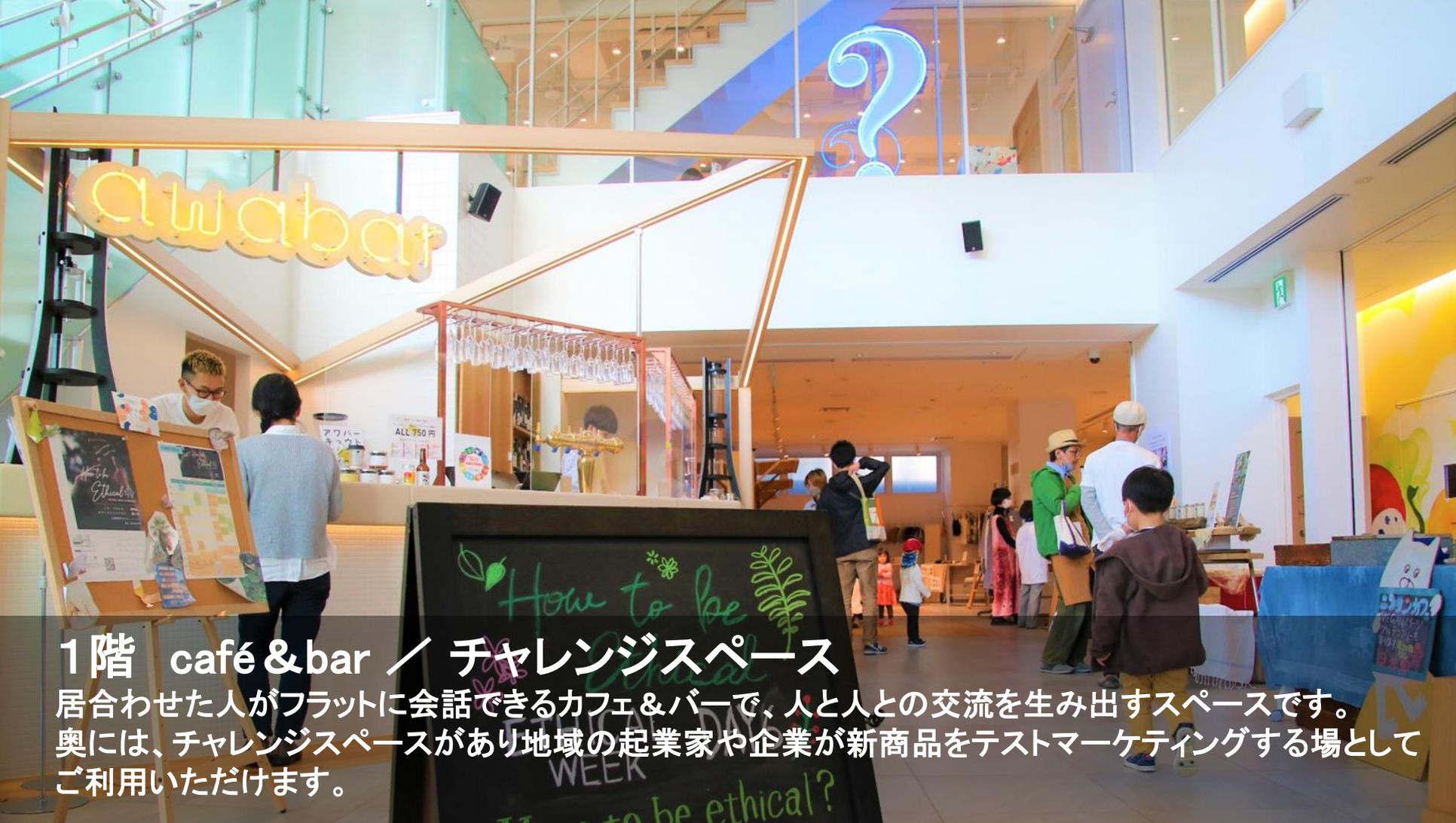
コミュニティマネージャーが地域のネットワークを活かし、様々なジャンルの先駆者の皆様と力をあわせ、課題解決にあたります。人々が集う対話の場があって、そこにお節介焼きのコミュニティマネージャーがいて、皆で寄ってたかって課題解決にあたります。

QUESTIONを通じて、一人でも多くの皆様に新しい気付きや出会いを体験していただき、地域全体をクリエイティブでイノベーションが起こりやすい場所に変えていきます。



6つのファンクション

- 様々な情報をオンラインとリアルで発信する 「**セミナー**」
- 人と人、事業と事業をつなげる 「**ビジネスマッチング**」
- スピーダーに疑問を解決する 「**問いの掲示板**」
- 寄ってたかって課題を解決する 「**プロジェクト**」
- 様々な人が集まり、コミュニティを形成する 「**会員相互の広場**」
- 商品のテストマーケティングや、共感マネーを集める
「**チャレンジスペース**」 「**クラウドファンディング**」



1階 café & bar / チャレンジスペース

居合わせた人がフラットに会話できるカフェ&バーで、人と人との交流を生み出すスペースです。奥には、チャレンジスペースがあり地域の起業家や企業が新商品をテストマーケティングする場としてご利用いただけます。



2階 Reception

オンライン会議や商談、コミュニティマネージャーとのコミュニケーションの場としてもご利用いただけます。

2階・3階



Co-working Space

コミュニティマネージャーやQUESTIONパートナーとのコミュニケーションの場としてもご利用いただけます。コミュニティマネージャーが常駐しています。



4階 Community Steps

大階段を使ったセミナースペース。リアルやオンラインのセミナー・イベントを開催しており、多様な人々が問いやアイデアを発信する場としてご利用いただけます。



5階 Students Lab

学生が主役のフロア、学生が考えたプロジェクトや就職の支援など、学生と地域の企業が有機的に繋がることができる場です。



6階 河原町支店

地域の皆様や、QUESTIONに集う会員の事業や暮らしを金融面からサポートします。



7階 DAIDOKORO

京都の街を一望できるコミュニティ・キッチン。社長と従業員とが一緒に料理を作ることを通じて、食と時間を共有し、豊かなコミュニケーションを生み出します。



RF Sky Terrace

河原町通と御池通の交わる場所に位置するQUESTIONの屋上には、市内を展望できるデッキがあります。祇園祭や大文字の際には開放します。

「問いの掲示板」の使い方

1 利用者が「問いの掲示板」に
問い(?)を投げかける



2 コミュニティマネージャーが
メッセージを受け取る



3 200人のアソシエイトパートナー
情報を共有する



4 48時間以内に
何らかの回答を行う



プロジェクトを組成

ビジネスマッチングを提案

知恵袋となる人を紹介

- ・ 京都信用金庫
- ・ (株)ツナグム
- ・ NPO法人 グローカル人材開発センター
- ・ (株)クロステック・マネジメント

- ・ (株)taliki
- ・ three trees design 三ツ木 隆将
(TEDxkyotoオーガナイザー)
- ・ (株)おいかぜ
- ・ (株)革靴をはいた猫

- Community Member (A・B・C)
- Satellite Member
- Kitchen Member
- Students Member

4社

4社

200人 (予定)

1万人 (予定)

運営
Core
Partner

専門領域でサポート
Partner

QUESTIONの知恵袋
Associate
Partner

会員
Member

「問いの掲示板」の事例

「問いの掲示板」から生まれたプロジェクト

京都で有名な綿菓子店の事業を、新会社を起業して引き継ぐ事業承継プロジェクト

2020年12月

相談者に、
QUESTION
“Core Partner”の
(株)クロステック・
マネジメントを引
合わせる

2021年1月

クロステックにて、
京都芸術大学の1
回生を中心に10名
で学生プロジェク
トを組成

2月

法人名が「株式会社Dandelion
fluff」(ダンデライオンフラ
フ)に決定。また、新会社の法
人登記から事業計画の策定。
経営のプロセスに携わる学生
4名が決定

4月 会社設立

会社登記完了。
オープンに向けて
最終調整を実施

5月15日 オープン

京都市東山区下弁天町に
JEREMY&JEMIMAH
(ジェレミーアンドジェマ
イマ)がオープン

10月28日

一時閉店し移転、
来年2月に四条烏丸
で新店舗オープ
ンを目指す。



※1. wata-hako 箱入り綿菓子



※2. 京わたが



※1.2. jeremy&jemimah (ジェレミーアンドジェマイマ) の公式ストアよ ※関係者からの公開許可のうえ、本事例を紹介しています。